

# 巖念寺だより

年末年始号/令和三(2021)年



題字 大塚婉嬢 書

■『愚痴供養祭』当日(8/16)

年末年始号/令和三(2021)年

巖念寺だより

## ●巖念寺新年会(修正会)の中止

毎年『巖念寺新年会(修正会)』を新年に予定しておりましたが、しかしご周知のようにコロナ禍の影響が懸念されるため(中止)とさせていただきます。

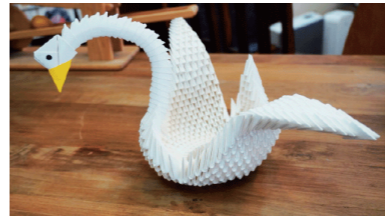
恒例の落語や日本舞踊を楽しみながら、皆さんとご一緒に新年を迎えることができないことは誠に残念です。

また、月例の「新念会(仏教の話や聞か集い)」も、コロナ禍の状況を鑑みながら、来年こそは再開できればと考えております。

## ●ご奉仕・ご奉納御礼

秋のお彼岸から十一月中旬までに次の方々よりお手伝い・ご奉納をいただきました。心より御礼申し上げます。(順不同)

田村洋・恵子様/川上よし子様/山本辰夫様  
武井健祐様/井坂美津江様/佐野千代様 その他



■折り紙『白鳥』 作：武井健祐様  
600枚以上の折り紙を組み合わせ、のり付けせず作られた迫力ある作品です。



■ビーズお数珠とアクリルたわし  
作：田村恵子様  
何年もの間、皆様のためにビーズやアクリル毛糸などを材料に手作りしてくださっています。



■阿修羅 画：山本辰夫様  
描画がライフワークという山本さんが国宝の阿修羅像をモデルに描かれました。

## ●ご懇志御礼

秋のお彼岸から十一月中旬までに次の方々より特別にご懇志を賜りました。心より御礼申し上げます。(順不同)

松田康治様/山口雅彦様/実沢正子様/佐藤誠様  
冲山正樹様/吉田友成様/鬼武君代様/野沢正則様  
稲林周様 その他

## ●子ども支援御礼

次の方々から「子どもフードパントリー(コロナ禍等による困窮する子供を抱えた家庭への支援活動)」へご寄付をたまわり誠に有り難うございました。

長引くコロナ禍の影響で、支援の必要な方が増えています。お陰様で皆様のご支援のもと、子どもフードパントリーは月に一回のペースで継続しております。引き続き皆様からのご支援・ご協力をどうか宜しくお願い申し上げます。

(八月より十一月中旬/順不同)

齋藤幸久様/勝木尚様/富田和子様/寺田龍雄様  
吉村奈都子様/増野裕子様/井上健治様/加藤純子様  
田原聖一朗様/土井努様/松下裕也様/田原福美様  
遠藤かほる様/武石美知子様/矢崎修・有理想様/栗本紀美子様  
屋城秀多様/安倍(嶋野)幸子様/常田幸子様/加藤桂子様  
倉品武文様/千田尚様/高島佑太様/小島及武子様  
大久保早苗様/早川美紗子様/百目鬼健様/川島秀文様  
山本喜則様/村山紀美子様/岡田之夫様/秋谷みえ子様  
中根聡美様/仁瓶耕太様/田平浩文様/下川あかね様  
中村治幸様/中澤輝美様/水谷修三様/山下淑子様  
清水節子様/和野内いさる様/松永玲子様/南千津子様  
野沢正則様/おいもやさん興伸様/東京文化ライオンズクラブ様  
みどり薬局様/ロージブルー様/Dwi Setiyo Trianto様  
(株) 朋園様 その他(匿名多数)

## ●年末年始のお知らせ

謹啓、師走の候。令和三年も、コロナ禍による困難と混乱の一年でありました。年の瀬を迎え、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

年末年始のお知らせ  
年末には**十二月二十五日(土)**からお参りの準備をいたしております。また、新年も元旦から休みなくお寺は開いておりますので、どうぞご参詣ください。(開門午前八時、閉門午後五時)

気持ちよく新年を迎えるために、お墓をきれいに掃除して、年末・年始を私たちにとって大切なひと時にいたしました。お墓参りの際には本堂にも必ずお参りください。

※お墓の生花をご用意しておりますが、年始には生花店がお休みです。品切れの際はどうかご容赦ください

## ●令和四年の法事年回

令和四(二〇二二)年は、次の年にご逝去された方々の年回法要にあたっておりますので、御案内申し上げます。

一周忌	令和三年	二十七回忌	平成八年
三回忌	令和二年	三十三回忌	平成二年
七回忌	平成二十八年	三十七回忌	昭和六十一年
十三回忌	平成二十二年	四十三回忌	昭和五十五年
十七回忌	平成十八年	四十七回忌	昭和五十一年
二十三回忌	平成十二年	五十四回忌	昭和四十八年

亡き人をしのび、私たちの生あることに感謝し、ご法事をお勤めする意味を今一度考えてみましょう。巖念寺では、様々な形のご法事(少人数、友人等)をお引き受けしております。是非ご相談ください。

巖念寺

〒111-0042 東京都台東区寿1-11-2  
http://www.gonnenji.com

電話：03-3844-9383 FAX：03-3844-9393  
E-mail：gonnenji1253@gmail.com

### ◆新企画「仏教おみくじ」

「仏教おみくじ(厳念寺オリジナル)」は、普通のおみくじと違って、運試のために吉凶を占うようなものではありません。仏教の心が、私たちが生きる中で(ともしび)になって欲しいという願いのもとで、これまで長年にわたり厳念寺の伝道掲示板に出して来た中から五十種類の言葉を選び、一言を添えて作りしました(左絵参照)。

難しい仏教の言葉ではなく、優れたお坊さんの平易な言葉や、仏教者以外の方々が残した、仏教に通じる大切な言葉まで広く取り上げられています。



あなたの引いたおみくじの言葉の意味を、自身を見つめ直し、新たな気づきへの縁(よすが)にただければ幸いです。

年末年始に「仏教おみくじ箱」が間に合うか微妙なところですが、ぜひ楽しみにしてください。

### ◆第六期「ケネス・タナカの仏教室」

来年四月より「ケネス・タナカの仏教室Ⅵ」をオンラインで開催いたします(別紙ご案内参照)。

二〇一七年に始まった仏教室は六年目を迎えます。お陰様で年々受講者が全国に広まって、第五期には海外からの受講者もあり、参加登録者は一二〇名を超えました。

コロナ禍の影響がまだまだ不透明で懸念されるので、第六期も厳念寺を会場とせずにインターネットを介しての実施とさせていただきますことになりました(状況に応じて、以前のように厳念寺を会場とすることも考えております)。

### ▼仏教コラム「誰を被(か)れることは」

日々の生活の中で出会う誰かのことを通し、仏教的な視点を交えつつ深め、味わっていく新コラムコーナー。厳念寺ホームページでもご覧いただけます。

### ▼みんなの厳念寺文庫

坊守ちひろ選抜の本コーナー「厳念寺文庫」を本堂手前に配架しました。初回のテーマは「戦争⇄平和」。第二回は「選択⇄変革」。

### ▼たいとう子供フードパントリー(協力)

コロナ禍で子ども食堂が停止する中、子育て支援をしているNPO「たいとこネット」主催のフードパントリーを月に一度開催しています。来年度も継続していく予定です。

### ▼カードワークショップ「ココロスケープ」(協力)

グリーンフェアグループ「ORIZURU」主催。「自分の支え」を(再)認識・(再)発見するためのカードワークショップです。二ヶ月に一回の頻度で好評開催中です。

### ▼手のり地蔵アートワークショップ「AKARI」(協力)

グリーンフェアグループ「ORIZURU」主催。「木の香りがする粘土を使って小さなお地蔵さまを創るアートワークショップです。初めての方でも簡単に楽しく取り組めるように工夫されています。二ヶ月に一回の頻度で開催中。こちらも大変好評です。



■ ORIZURU 主催「ココロスケープ」



■ ORIZURU 主催「AKARI」

新年度は「今から始める仏教入門」というテーマで、五年ぶりに仏教の基本に戻って、新しい角度から、私たちの生活に結びつく仏教の魅力を展開していただこうと考えています(初めての方でも分かりやすい内容です)。

例年通り、日本人の先生にはないようなケネス先生ならではの視点から、やさしく楽しいお話になるはずですが、ケネス先生も皆さんと画面を通してお会いできますことを楽しみにしております。



### ◆令和三年活動報告(詳しくはホームページ参照)

#### ▼ケネス・タナカの仏教室Ⅴ(オンライン化)

今年で五年目となったケネス・タナカ先生による仏教講座。コロナ禍に伴い、講義はオンライン化、youtubeにて動画配信、講義録の配信も実施しました。また、インターネットを利用しての受講が難しい方には講演録を印刷の上、送付しています。

#### ▼あつらプロジェクト「よるてら」

月に一度、夜の本堂でしずかにコーヒーを飲む細やかな企画。近所の方や通りすがりの方もふらっと立ち寄られます。

#### ▼あつらプロジェクト「みんなで作る下町絵本展」

ご縁のある方々に「子どもの頃に心に残っている絵本」と「いま大切な人に届けたい絵本」の二冊をその理由と共に教えて頂き、その数が百冊(五十人)に達したときに厳念寺で絵本展を開く催しです。※絵本を推薦して下さる方を募集中。お気軽にご連絡ください。

#### ▼あつらプロジェクト「愚痴供養祭」

皆さんに「愚痴」を書いていただいた短冊を、「灯籠」で照らし、お盆の送り火と共に供養することで、お互いの次の一歩を励まし合うお祭です。コロナ禍ということもあり多くの「愚痴」が集まり、新聞やテレビ番組などに取り上げられました。(表面写真参照)

#### ▼厳念寺「フリスベース」事業

社会貢献を目的として活動する方に施設を無償でお貸しするボランティア事業。:ガールスカウトリーダー会、社会福祉協議会主催「地域つながり会議」、保護司会、引きこもり家族会、遺族会、高齢者レクリエーションの会など

#### ▼各種SNSアカウントを開設

「Facebook」「Twitter」「YouTube」の厳念寺公式アカウントを開設しました。是非ご登録ください。

### ◆その他、新坊守ちひろの活動など

▼ちひろが記者として勤めている雑誌『月刊住職』が、八月十三日にNHKBSプレミアムの特別番組「希少誌道」で取り上げられました。番組後半はちひろの取材風景と厳念寺での生活の様子に焦点があてられ、副住職も仲良く映りました。



■ NHKBS プレミアム「希少誌道」

▼今秋、筑摩書房より発行された『東京の生活史』一五〇人が語り、一五〇人が聞いた東京の人生(岸政彦編)に、ちひろも一篇書きました。



■ 筑摩書房『東京の生活史』一五〇人が語り、一五〇人が聞いた東京の人生

同書は東京で暮らしたことのある人の生活史を膨大なインタビューで収録した前例のない本で、ちひろがペンネームで執筆した題は「あるがままって、ご縁なんだよね」。北海道生まれの一人の女性が上京し、就職を経て結婚。そして浄土真宗のお寺とご縁を持つまでのライフストーリーです。本堂のピロティに置いてありますので、よろしければご覧ください。